

一般国道170号（十三高槻線）道路築造事業に伴う
井尻遺跡 発掘調査現地公開資料

所在地：大阪府高槻市井尻1丁目

井尻遺跡は高槻市の東部、井尻1丁目に位置します。井尻の地名は井（川や灌漑用水路）の尻（末端）にあたることからそう呼ばれるようになったと言われており、現在もこの近辺を縦横に走る用水路は地名の由来を物語っています。

今回の調査は、一般国道170号（十三高槻線）道路築造事業にともない、公益財団法人大阪府文化財センターが大阪府茨木土木事務所の委託を受けて、平成30年5月から行ってきました。調査では古墳時代前期～中期（約1700～1500年前）にさかのぼる水路や鎌倉・室町時代（約800～400年前）の水路を数条確認しました。古墳時代の水路は、現在の田畑や水路の方向とほぼ同じであり、我々の目の前にある宅地や水路の区画が、実は約1700～1500年前にまでさかのぼることがわかりました。



●古墳時代の二本の水路（北東から）



●古墳時代の水路からの土器出土状況（南から）



●今回の調査で出土した古墳時代の土器



●鎌倉・室町時代の水路（南東から）



●古墳時代の水路からの土器出土状況